

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局予防課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-861-1504
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	自主防災組織等育成事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害時等の被害を少しでも防ぐために「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という自助・共助の意識の醸成と高揚を図るとともに、結成された自主防災組織の活動を推進するための防災訓練を支援する等の育成指導を行い、地域防災力の向上を図る。				
30年度概要	防災訓練に係る非常食品の助成事業 自主防災組織機能強化事業 自主防災組織連絡協議会補助金 消防支援隊装備 消防支援隊・消防協力隊ボランティア保険 コミュニティ助成事業				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


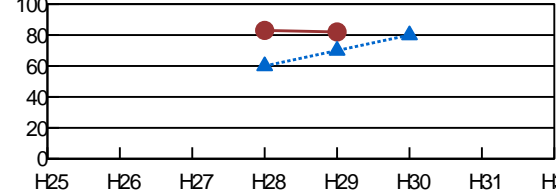
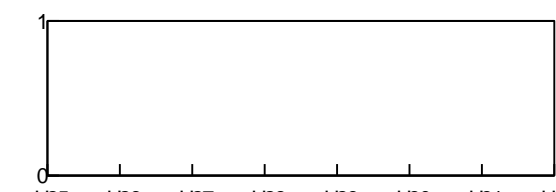
【事業の目的】

対象（何を）	コミュニティ、自主防災組織
意図（どのような状態にしたいか）	防災訓練等の実施を呼びかけ支援することにより、自主防災組織の活動を強化して、地域防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
非常食品助成率	%		89	89	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率	%	目標値		60	70	80	80
			実績値		83	82		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 自主防災組織も避難所運営についての重要性を認識しており、防災訓練に取り入れている組織が増えつつある。今後、訓練計画時などを通じて実施を促し、実施率の向上及び内容の充実を図る。 							(達成度) 117.1% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	39,374	27,127	27,114	31,322
（事業費）	[円]	16,957	4,202	4,960	9,168
（職員人件費）	[円]	22,417	22,925	22,154	22,154

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各自主防災組織の防災訓練実施率や避難所運営訓練等の実施率は、前年度程度となった。少数ではあるが、訓練未実施地区もあるため、更なる訓練の実施を働きかける必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

自主防災組織の取り組み事例の紹介や講演会を実施するなどして、自主防災組織の活動の温度差を解消し、組織のレベルアップを図る。また、小学校と連携による避難所運営訓練の実施や新たな訓練企画を提案して、より実効性のある訓練の実施を推進する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	地域防災対策事業		事業期間	平成20年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市地域防災計画に基づき、震災対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、大地震を想定した震災対策総合訓練を実施する。開催場所については、消防署の管轄区域ごとに、北署・東署・南署・西署の順番に持ちまわり決定する。		
30年度概要	市民防災講演会 震災対策総合訓練 防災士ネットワーク会員研修会 防災士資格取得助成制度		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市地域防災計画に基づき、大地震を想定した震災対策総合訓練を実施し、震災対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図る。地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得助成や研修会等を実施し、各地域において防災リーダーを養成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
震災対策総合訓練実施回数	回		1	1		3
高松市民防災講演会開催回数	回			1		3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松市民防災講演会参加人数	人	目標値			100		180
		実績値			86		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 今年度から開催した高松市民防災講演会は各 地域コミュニティ協議会からの代表者に対 して行い、目標人数には届かなかったが、一定 の成果はあった。	(目標達成度)						30点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	4,546	17,085	9,682	9,828
（事業費）	[千円]	707	598	578	724
（職員人件費）	[千円]	3,839	16,487	9,104	9,104

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
----------------	---	------------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

牟礼地区において震災対策総合訓練を平成29年11月26日に開催し、関係機関・団体、民間事業者の協力のもと、多くの市民が参加し、地域の防災力向上に寄与した。また、高松市民防災講演会を平成30年1月30日に行い、香川大学の金田先生を講師に迎え、86名の参加者に講演「南海トラフ巨大地震の減災について考える」を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

訓練内容について、定例的なものではなく、よりリアリティのある訓練となるよう地域とも協力し、地域の防災力向上に努める。また、平成29年度から開催を始めた高松市民防災講演会により多くの市民の参加を促し、防災意識を高め、合わせて、防災士のスキルアップを図ることで、地域の防災リーダーを養成していく。